

第25回青年対策交流会に参加して

2月22日（土）から2月24日（月）の3日間、豊橋シーパレスリゾートにて行われた「第25回青年対策交流集会」に参加させていただきました。1974年の第1回から遡り第25回という歴史ある交流集会に参加させていただいたこと、また全港湾の素晴らしい仲間と有意義な交流ができたことに御礼申し上げます。

1日目は鈴木誠一中央執行委員長による「全港湾の歴史」について受講しました。その中で感じたことは、過去日本が起こした戦争や今現在世界で起こっている戦争についての理解が必要だと感じました。鈴木委員長の「食糧自給率が40%に満たない日本に於いて1番最初に狙われるのが、空港・港湾・原子力発電所である。」その言葉に強い危機感、不安感を抱きました。また先輩達が築き上げてきた歴史をより深く知ることによって今の世代、これからの世代に繋いでいくことが今後の組合活動に於いて重要なことだと感じました。

2日目は、松永中央書記長による「全港湾青年部の歴史とこれからの全港湾について」について受講しました。その中で感じたことは、自分自身がまず行動を起こすことが重要であると感じました。将来に繋げるためには、知識、知恵をつけないといけない。そのために、先輩達の運動を「学び、聞き、話す」ことを習慣にしていくこと、組合に期待せず自分で作るのだということを心に刻みこれからの組合活動の発展に繋げていきたいと感じました。

最後に企画・運営していただいた方々本当にありがとうございました。ドッチボール楽しかったです！

関東地方横浜支部日本高速分会
青年部員 大島 周斗